

島根県立中央病院医学雑誌50巻の発行に寄せて

島根県健康福祉部 部長 周 山 幸 弘

島根県立中央病院医学雑誌50巻を発行されますことに対し、心よりお慶びを申し上げます。

さて、県立中央病院におかれましては、県立病院として、救急医療、周産期医療、災害医療、へき地医療などの政策医療を積極的に担っていただくとともに、他の医療機関などとの連携を密にして、地域医療の充実に大きな役割を果たしてこられました。

その原動力は職員の皆様であり、50巻を迎える本誌をはじめとした研究、教育を積み重ね、地域に期待される医療者の育成に努めてこられたことに深く敬意を表します。

島根県においては、今後も人口減少と高齢化が進むと予測されており、医療需要の変化や中山間地域・離島をはじめとした医療人材不足への対応、新興感染症への対策等、将来に向けた保健・医療・介護のより効率的なサービス提供体制の構築が必要となっています。

県としましては、引き続き、各地域の実情に応じた医療・介護の提供体制の構築に向けた取組を進めるとともに、高度・特殊・専門的医療については、県全体で医療の提供体制を構築するという視点で継続して検討していくこととしておりますが、県立中央病院には、様々な場面で主要な役割を担っていただきたいと考えております。

今後も、職員の皆様が日々のご研鑽を積み重ねられ、地域の大きな期待に応えられますようご期待申し上げます。

結びに、県立中央病院の今後益々の発展と、職員の皆様の一層のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。